

アメリカ研修 4 日目の報告でございます。

本日午前は語学学校でようやく最初の授業です。オンラインで受講したテストの結果によりレベル別に配属されたクラスに臨みました。英語テストの出来の不甲斐なさにショックを受ける生徒もおりましたが、自分の今の英語力を知ることができたことは大きな一歩です。これを受けいれ、悔しさをばねに成長できるよう奮起していただきたいと思います。なお初めてのクラスのため、周りに知っているものがおらず、教室に入ることすら躊躇う生徒も見受けられるなど、緊張の面持ちでのスタートとなりました。

授業後に感想を聞いてみると、周りの雰囲気戸惑う生徒がやはり多く、自由闊達な発言をする他国生（トルコ・フランス・スペイン・ブラジル・サウジアラビア・中国・台湾・韓国等の留学生がいるようです）にかなり刺激を受けた様子でした。中には「言っていることが全く理解できない…」、「単語力が決定的に足りない…」と青ざめる生徒もいましたが、もどかしさや悔しさを感じることは当然のことです。すべてわかるのであれば語学学校に通う必要はありません。あえて新たな学びを得るため、チャレンジをするため、つまり苦勞をしにアメリカに来ているので、この悔しさや伝えられなかったもどかしさをどうしていくのか、前向きに捉え、学習の励みにしてもらえればと思います。



授業の様子です

そして午後はCIC（ケンブリッジイノベーションセンター）の訪問です。こちらは昨日ハーバード大学もご案内いただいた松川原康市氏から、日本企業ID（Information Development）社のアメリカ法人で働くオーウェンズ美穂氏をご紹介いただき、同社でグローバルに活躍されている青年ハムザさん、インターンシップを行っているロシア出身のアーデムさんとの座談会となりました。CICはスタートアップ企業を中心に会議室等も含めオフィススペース、リソースを格安で提供することで起業を促すための施設であり、また協業が生まれるよう、仕組みとして様々な専門分野を持つ入居者同士が集い、コミュニケーションをはかる機会が用意されていること、コラボレーションを積極的に促進、分野をまたがったイノベーションが起こる仕掛けがあること、集合体として相乗効果を生む環境となっているなど、様々な利点をご説明いただきました。



CIC (ケンブリッジイノベーションセンター) にて

日本の従来のオフィスとは一線を画す、この革新的な環境、そして組織から個へとシフトしていく働き方など、生徒たちには新しい気づきがあったことと思います。

今後の高校生活に関しても、

- ・やりたいことをやること ⇒好きなことであれば壁を乗り越えることができる
- ・課題発見能力を磨くこと

などのアドバイスをいただき、多くのヒントをもらうことができました。

以上、4日目の報告とさせていただきます。